



## 読書界 11月号

### 「実写化・映画化された話」

『阪急電車』 有川浩 (2011年映画化 出演者：中谷美紀、戸田恵梨香、南果歩)

この本は、阪急電車の一つである今津線を舞台にして、人との繋がりを描いた物語です。大学生、OL、おばあちゃん、女子高生、主婦など、一つの駅ごとに様々な視点から物語が語られていくのですが、当然それぞれの事情や悩みがあり、その思いが「他人」とどう交差していくのか、どう変わっていくのかが見どころです。人付き合いに疲れた方や、悩みがある方はぜひ読んでみてください。

2-1 半田尚樹

『疾風ロンド』 東野圭吾 (2016年映画化 出演者：阿部寛、大倉忠義、大島優子)

この本は、研究所で秘密裏に開発していた生物兵器が盗まれ、四日後までに見つけないと病原菌が日本中にばらまかれてしまうという物語です。一人雪山で兵器を探すというとても危機的な状況なのですが、スキーが苦手な主人公が面白く、コメディとサスペンスの要素を兼ね備えているところが魅力の作品です。ミステリーやサスペンスが苦手な人でも気軽に読める作品だと思います。ぜひ読んでみてください。

1-6 島内晴未

『陸王』 池井戸潤 (2017年ドラマ化 出演者：役所広司、山崎賢人、竹内涼真)

この本は、足袋作り百年の老舗「こはぜ屋」が会社存続のために「裸足感覚」を追求したランニングシューズ作りに挑むお話です。社長の強い思いを信じ 20名の従業員たちは、チームワーク、ものづくりへの情熱、そして仲間との熱い結びつきで、世界的スポーツブランドとの熾烈な競争、資金難、素材探し、開発力不足など、多くの困難に立ち向かっていきます。果たしてランニングシューズはできるのか？現在ドラマ放送中です。ドラマと併せ、ぜひ読んでみてください。

1-6 中島花奈

『忍びの国』 和田竜 (2017年映画化 出演者：大野智、石原さとみ、鈴木亮平)

この本は、伊賀の国の忍者のお話です。時は、戦国時代。銭のためにしか働かない忍者「伊賀忍者」がいました。そのなかでも、無門は人並み外れた技術の持ち主でしたが、私生活はぐうたら生活でした。そんななか織田信長の二男「織田信雄」が伊賀に攻め入ろうとします。ずっとハラハラドキドキしながら読める歴史小説です。最後は衝撃のラストが待っています。ぜひ読んでみてください。

1-7 佐野奏子